

## 【教科学習と連携した課題発見+実践学習】

(豊中市立東泉丘小学校 6年の取り組み例、2003年)

### (1)背景と経緯

豊中市立東泉丘小学校における「交通・環境学習」の取り組みは、上記 2.1 の和泉市での取り組み開始を受けて、交通と環境の問題を題材とした小学校高学年用の学習の教材やカリキュラムを拡充するとともに、取り組みを推進するためのしくみを検討することも一つのねらいとして、2003年に豊中市として初めて実施した事例です。

もちろん、学習の目的は、地球環境問題をはじめとする環境の問題について、次代を担う子ども達に現状を伝え、クルマをはじめとする産業活動と日常のくらしのなかで、問題解決に向けて、考え、行動することを学んでほしいというところにあり、前記のねらいとあわせて、国土交通省総合政策局交通計画課の支援をいただき、国土交通省近畿運輸局企画振興部、大阪府、豊中市、学識経験者で構成する委員会を設立して取り組みを進めました。

### (2)学習の内容

#### 1)取り組み概要

豊中市立東泉丘小学校 6年では、表 2.3 に示すように、理科の学習課程における「燃焼」による CO<sub>2</sub> の発生や光合成などを踏まえた空気に関する学習から展開して、私たちがふだん気に留めない“空気”について興味を持つ環境を醸成し、課題発見型教材である「私たちの校区の空気を調べよう」と実践型の「かしこいクルマの使い方を考える」、および「家庭の電気、ガスの使い方を工夫しよう」で構成することとしました。また、実践学習との間には、出前講座：「クルマ大集合」および「公共交通の話」を実施して、実践への取り組み動機を高めることとしました。

なお、教科学習の年間スケジュールや学校の実情に応じた教材への改良やカリキュラム構成などの具体的な準備などのために、担当教師、行政担当者、学識経験者等でワーキングを構成して取り組みを進めました。ここでは、理科の教科学習の中で取り組むこととしたため、児童がそれまでに学んだ燃焼や光合成などの知識を踏まえ、身近な生活の中で、しかも”なぜ“といった興味を活性化するための問いかけを工夫するなど、導入部については特に注意を払いました(カリキュラムは表 2.4)。

表 1 豊中市立東泉丘小学校の取り組み概要

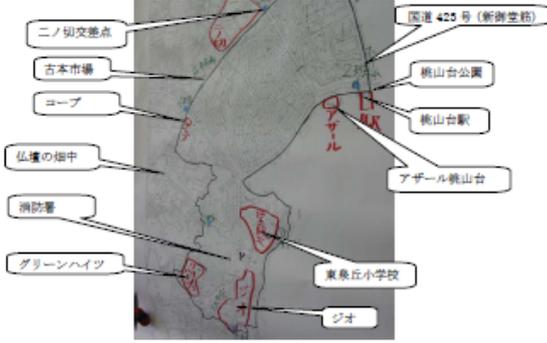
小学校	豊中市立東泉丘小学校				
学年	6年	クラス数	3クラス	児童数	102人
テーマ・教材	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 校区内の空気を調べよう</li><li>・ 出前講座「クルマ大集合」、「公共交通の話」</li><li>・ かしこいクルマの使い方を考える。</li><li>・ 家庭の電気、ガスの使い方を工夫しよう。</li></ul>				
教科	理科		授業担当	学年理科担任	
実施期間	平成 15年 11月～平成 15年 12月(1ヶ月)		授業数	13コマ	
取り組みの目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 理科教科学習課程のなかで身近な実体験を経験する。</li><li>・ 家庭、地域との連携の中で学習を進める。</li><li>・ 自らの実践行動が自分にとっても有用であり、社会にとっても貢献できるという喜びを実感する。</li></ul>				

表 2 豊中市立東泉丘小学校の取り組みの構成

校時	児童の学習活動	教師による指導・支援
-	理科：「物の燃え方と空気」、「植物のからだと日光（光合成）」の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>物を燃やすと CO<sub>2</sub> が発生する・・・</li> <li>植物の光合成で CO<sub>2</sub> と酸素が交換される。</li> </ul>
1	○ 私たちの校区の空気はきれいなのでしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身の問題として興味を持つよう、質問を投げかける。</li> </ul>
2	○ 校区内の空気を調べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査地点の設定：どこがきれいで、どこが汚れている？</li> </ul>
3	○ 校区内の空気調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査方法の確認。</li> </ul>
4	○ 調査結果のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量と空気の汚れの関係を理解させる。</li> <li>人と環境にやさしいクルマの必要性を理解させる。</li> </ul>
5	○ 空気をきれいにするためにはどうすればよいかを考え、議論する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>どうすれば CO<sub>2</sub> 排出を削減することができるか？</li> </ul>
6	○ CO <sub>2</sub> を減らすためには？	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境にやさしい生活様式の事例を支援。</li> <li>家族と一緒に実践できることも示唆。</li> <li>実践項目と目標を立てさせる。</li> </ul>
7	○ 私の実践計画発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践計画を発表させる。</li> </ul>
8,9	■ 出前講座：クルマ大集合	
10	■ 出前講座：公共交通の話	
11	○ 実践結果のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践結果 WS の計算を支援する。</li> <li>クルマ利用削減効果が他の実践に比べて非常に合理的であることを認識させる。</li> <li>わかりやすい指標への換算（樹木）。</li> <li>みんなで実践すると、大きな成果になることを理解させる。</li> <li>実践によって達成した喜びを醸成。</li> </ul>
12,13	○ 発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境を改善するための生活習慣を継続するためにはどうすればよいか？</li> <li>今後の環境や公共の問題への取り組みに必要なものは何か？</li> </ul>

2)学習の実際

学習課程	児童たちの取り組み状況と反応	教師による指導・支援
<p><b>動機の活性化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私たちのまちも大気が汚染されている？</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>大気環境悪化の現状を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>とけた銅像、雪のない山 etc.</li> </ul> <p>↓</p> <p>CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>はどこからたくさん出ているのでしょうか？</p> </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>問いかけ：「東泉丘小学校区では、酸性雨が降っているのでしょうか？」</p> <p>降る：0.6/0.4：降らない</p> </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>何を調べれば校区内の大気汚染の状況がわかるだろうか？意見が食い違っていることに着目して調べてみよう。</p> <p>↓</p> <p>NO<sub>x</sub>、CO<sub>2</sub>、酸性雨 植物や花の観察、交通量 etc</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなが生活する校区内でも大気汚染の影響があるのでしょうか？</li> <li>パネル：NO<sub>x</sub>発生源別排出量の割合、CO<sub>2</sub>部門別排出量の割合</li> <li>意見が分かれるところから意見交換して、調べることの必要性、何を調べればよいかなどをつくりあげていく事が大切。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>保護者との連携を図る通信紙</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="font-size: 24px; font-weight: bold;">RIKA通信</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: 8px;">             2003.11.11.              豊中市立東泉丘小学校              6年担任・蓮生           </div> </div> <p style="text-align: center;">「ヒトと自然」の学習が始まります！</p> <p style="font-size: 8px;">先日の学級懇談会でも説明があったように、大阪府土木課からの依頼で、東泉丘小学校の6年生で環境教育を行うこととなりました。この学習は、大阪府土木課、豊中市環境教育課、交通システム研究所、大阪大学の松村先生、6年の担任、理科担当蓮生が、協力して、授業作りをしています。(上記の方々には、授業のお手伝いもしていただく予定です。)</p> <p style="font-size: 8px;">元々、6年の理科は環境を考える教材が中心となっています。2学期になってからは「水循環の性質」の授業で酸性雨の問題を、「燃焼」の授業では地球温暖化の問題を取り上げています。今回の「ヒトと自然」のテーマは「地球温暖化問題を、わたしたちの生活から見つめよう」です。特に、酸性雨や地球温暖化に関わる問題を取り上げ、私達に何ができるかを考え、実際に実践してみる予定です。実践活動は、主に、ご家庭での活動が中心となりますので、保護者の方々のご協力が必要になってきます。是非とも、これを機会にご家庭で地球温暖化問題に興味をもたれ、子どもたちと一緒に、家族ぐるみで取り組んでいただけたら幸いです。そのためにも、授業でどんなことをしているか、子どもたちの様子はどうかを、随時お知らせしていきたいと思っております。ご協力よろしくお願ひ致します。</p> <p style="font-size: 8px;">さっそくですが、お願ひ致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践に向けての基礎調査として、電気・ガス・水道の1週間分のメーター、1週間分の車の使用量(時間または距離)を記録して頂きたいです。プライバシーに関わりますので、その記録を他人に公開することはありません。また、ご家庭の事情に合わせて、可能な範囲で結構です。よろしくお願ひ致します。</li> <li>・授業中、校外で環境調査を行います。子どもたちの安全のため、付き添いのお手伝いを募っています。ご協力して頂ける方は、担任まで連絡お願ひ致します。</li> </ul> <p style="font-size: 8px;">6-1 19日(水)3、4時限      6-2 18日(火)5、6時限 6-3 20日(木)3、4時限</p> </div>

学習課程	児童たちの取り組み状況と反応	教師による指導・支援
<p><b>問題への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校区内の大気汚染状況調査計画策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>何を調べるか？</li> <li>どうやって調べるか？</li> <li>どこを調べるか？</li> <li>誰が何を調べるか？</li> </ul> <p>結果の予測</p> <p>クルマの多いところは空気が汚れている。 公園、校庭は空気がきれい。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査準備：校区内地図</li> <li>調査方法は示唆する。</li> <li>グループ毎の調査を提案し、調査計画を整理してグループ毎の分担を設定する。</li> <li>結果の予想を要請：空気のきれいなところ汚れているところ、事故の多いところ少ないところなど</li> </ul>
<p><b>問題の追及</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校区内の空気を調査</li> </ul>   	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査地点と項目をグループで分担して、調査計画に基づいて計測する。 (交通量、NO<sub>x</sub>、CO<sub>2</sub>、空気のおいしさ)</li> <li>調査結果を地図上にプロットする。 (NO<sub>x</sub>、CO<sub>2</sub>は、試薬入りピンを学校に持ち帰って計測)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査用備品、消耗品、校外引率体制など</li> <li>保護者に校外調査時の引率協力を要請する。</li> <li>NO<sub>x</sub>、CO<sub>2</sub>の試薬による計測を支援する。</li> <li>調査時には、予測との整合性を問いかける。なぜ？</li> </ul> <div data-bbox="1027 1541 1406 1966" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>RIKA通信</b> 2003.11.21. 豊中市立東泉丘小学校 6年担任・蓮水</p> <p><b>意外と大変！ 交通量調査</b></p> <p>火曜日、水曜日、木曜日にかけて、3クラスで、東泉丘小学校校区の交通量調査とNO<sub>2</sub>調査を行いました。保護者の方にも、ご協力いただきました。ありがとうございます。ほかに、大阪府土木課、豊中市環境政策課、大阪大学、交通システム研究所から授業支援に来て頂きました。</p> <p>人間のまともな交通量調査用のカウンターです</p> <p>交通量の多いところ、少ないところを予測して、調べました。アザール付近で、30分で500台近い交通量でした。臭いも、すごかった！（昼間で、これだから夕方は・・・）新御堂橋を調べたグループは、なんと1000台！！すごー！！</p> <p>NO<sub>2</sub>を調べるための、カプセルも設置。朝に、子どもたちが、回収しました。やっぱり、校区内の道路は、平均して0.03ppmと、平均内れています。ところが、学校敷や作業の作業は、0.02ppmとやっぱり、きれい。公園などは、思ったほど、きれいではなくて・・・子どもたちも、いろいろなことに気がついていました。</p> <p>※ご家庭でのメーター調べ、ありがとうございます。</p> </div>

学習課程	児童たちの取り組み状況と反応	教師による指導・支援
<p><b>結果の整理と考察</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果のまとめと意見交換。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量の多いところは・・・空気の汚れがひどい、においや色は？</li> <li>交通量の少ないところでも・・・</li> <li>予想（仮説）とあっていたところ、違っていたところ。なぜ？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量と空気の汚れ、渋滞の関係、事故原因の考え方を理解させる。</li> <li>人と環境にやさしいクルマ社会の必要性を理解させる。</li> </ul>
<p><b>対策の検討と実践計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化や酸性雨を防ぐ方法は？</li> <li>環境にやさしいくらしの計画</li> <li>実践計画発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の CO<sub>2</sub> 排出量の用途別割合から、どの分野の量が多く、どの分野が増加しているかをつかむ。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空気を汚さないくらしの実践計画を立てる。</li> <li>どんなことができるか、意見交換をする。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>「私と家族の CO<sub>2</sub> 削減計画」</b></p> <p>CO<sub>2</sub> を減らす生活様式を考えて、ワークシートに各自の削減計画を書き込む。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実践計画を発表しあう。</li> </ul> <p style="text-align: center;">※. <u>出前講座実施週間に家庭で実践</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化や酸性雨の原因物質の増加と自分たちのくらしとの関係について考えさせる。</li> <li>グループに分かれて、どんなことができるか意見交換をする。</li> <li>家族に協力してもらうために、手紙を書く。（理科通信も活用）</li> <li>実践計画に対する CO<sub>2</sub> 排出量削減原単位を準備しておく。</li> </ul>

**RIKA通信** 2003. 11. 28.  
豊中市立東葉丘小学校  
6年担任・遠水

**ご協力をお願いします！**

勉強して、私たちが住んでいる豊中市なのだから、みんなで協力して家庭からのCO<sub>2</sub>などを減らさなければならぬと思う。これから1つ1つ授業し、住みよい豊中市をつくりたい。（環境調べの感想より）

この学習を通して、子どもたちが環境をよくしていく実践者になっていくという思いが生まれてきました。そこで、CO<sub>2</sub>やNO<sub>2</sub>を削減する生活を考え、実際に一週間、実践してみました。実践を始めるなかで、簡単に良い生活を実践するすばらしさや難しさを感じ取ってくれたらと思います。この取り組みは、家庭で・・・ということになりますので、是非ともご家庭でのご協力が必要になってきます。お忙しいとは思いますが、よろしくお願ひいたします。

取り組みの流れ

母子「くらしの地球温暖化対策」（電気・ガスによるCO<sub>2</sub>削減）  
「かしこい車の使い方」（車によるCO<sub>2</sub>、NO<sub>2</sub>削減）を読み、主に電気・ガスで取り組むが、車で取り組むが、コースを決める。

↓

自分の家では、どんな取り組みができるか、計画を考える。

↓

家の人に、自分の考えたプランを知らせ、実際に実践可能かどうか家の人と話し合う。また、何をどうするか具体的に話し合い、いつでも取り組みスタートをできるようにしておく。

↓

この部分が、主、目的の宿題となっています。よろしくお願ひします。

学習課程	児童たちの取り組み状況と反応	教師による指導・支援
<p>■ 出前講座</p> <p>・クルマ大集合</p>   	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコカーの見学、試乗</li> <li>・ いろんなクルマの排気ガス調べ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座の依頼（行政団体）</li> <li>・ NOx、CO<sub>2</sub>、PM の計測方法を指導。</li> <li>・ いろんな車の排気ガスを調べて、これからのクルマとのかかわりを問題提起する。</li> </ul> <div data-bbox="1005 649 1396 1176"> <p><b>RIKA通信</b> 2003.12.8. 豊中市立東泉丘小学校 6年担任+速水</p> <p><b>エコカーを学ぼう いろいろな車大集合!</b></p> <p>12月5日(金)は、運動場にエコカーを集めて、環境にいい車の開発について学びました。大阪府と豊中市、阪急バスの協力を得て、エコカー8台が集結!! ソーラーカー、天然ガス車、電気自動車、ハイブリッド車、ノンストップバス(天然ガス車)と、そろいました。(ダイハツが所有している燃料電池車もお見せしていたのですが、この日はモーターショーがあり、都合がつかずませんでした。)</p> <p>各車の説明のあと、排気ガスのNO<sub>2</sub>とCO<sub>2</sub>と酸性度の実験。楽しんで、取り戻っていました。やっぱり、ハイブリッド車は、NO<sub>2</sub>の量が、非常に、少なかった! 電気自動車は、60キロしかでないものの、音の静かさにびっくり。天然ガス車の排気ガスは、全然、くさくさなかったですよ。</p> <p>その後は、質問コーナーとソーラーカー試乗会。しかし! 時間の関係上、ソーラーカーの試乗会は、ひとグループに限られるため、実験の結果を予想し、1審予選を全てこなすが、試乗することには...。こども用に開発されたソーラーカーなので、簡単に操作できていました。</p> <p>いいお天気の下、2時間たっぷり学習しました。見に来られた保護者の方が「これは大人も考えなければいけないことですね。」とっておられたそうです。是非、これをきっかけに、お家のほうでもエコカーについても興味をもっていたらうれしいです。</p> <p>(この日は、授業の様子を、豊中ケーブルと読売新聞が取材に来られていました。)</p> </div>
<p>■ 出前講座</p> <p>・ 公共交通の話</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電車、バスとまちづくりの話</li> </ul> <p>大阪大学大学院 松村助教授</p>	<div data-bbox="981 1388 1396 2016"> <p><b>RIKA通信</b> 2003.12.12. 豊中市立東泉丘小学校 6年担任+速水</p> <p><b>へーポタンいっぱいおしたよ</b></p> <p><b>大阪大学の松村先生に公共交通について教わりました</b></p> <p>環境教育の一環で、大阪大学の松村先生にゲストティーチャーに来て頂き、環境にまつわる、公共交通や行政の取り組みのお話をお聞きしました。40年間にわたって、鉄道やバス路線がどのように変化してきたか、から始まり、NO<sub>2</sub>の排出量の変化から、車の台数が増え続け、公共交通の利用者が減っていることなどを、電車の機軸やグラフ、写真をつかって、とてもわかりやすく、教えて頂きました。</p> <p>質問コーナーでは、次から次へ、質問が出、あとでまとめてお話しすることになったほどでした。最後に「交通と環境の関係に興味を持ったら、6年後に大学に来て、一緒に研究しましょう。」とっておられました。本当に、この6年生の中から、環境について専門に研究する人が生まれたらすてきな。</p> <p>余談 質問の中に、「どうして大人は、電車の路線をよく知っているのですか。学校で習ったのですか。」というのがありました。車社会の今では、音に比べて、公共交通を利用する機会は、うんと減っているのではよね。</p> </div>

学習課程	児童たちの取り組み状況と反応	教師による指導・支援		
<p><b>実践結果のまとめと評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実践結果のまとめ</li> <li>グループで、実践の結果を話し合う。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出量の計算。</li> <li>サクラの木への換算。</li> <li>実践の感想、気がついたことを記録する。</li> </ul> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスみんなで実践すると、効果が大きいことを確認する。</li> <li>実践継続の困難さ、楽しさ、家族でいっしょに取り組むことのうれしさ、社会貢献の喜びを共有する。 (しんどかった、毎日実践するのはつらい、家族は最初は何もしなかったけど最後は一緒にやってくれた、お母さんが買物に車で行く回数を1週間に2回にした・・・)</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備：計算機、CO<sub>2</sub>排出原単位</li> <li>わかりやすい指標に換算する(樹木)。</li> <li>実践の困難さに比して、達成する喜びが大きいことを実感させる。</li> <li>家族への波及を確認する。</li> <li>クルマの使い方の工夫は、他の実践と比べると非常に大きく、合理的であることを認識させる。</li> </ul>		
<p><b>まとめと発表会</b> 「提案しよう！環境を良くする取り組み」：未来の東泉丘小学校(絵)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の成果を発表しあって意見効果をする。</li> <li>これからの暮らしへの提言を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境を改善するために必要な生活習慣を継続するためにはどうすればよいかを問いかける。</li> <li>今後の環境や公共の問題への取り組みに必要なものは何かを問いかける。</li> <li>発表会の準備を支援する。</li> </ul>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>RIKA通信</b></p> <p style="text-align: right;">2003.12.22 豊中市立東泉丘小学校 6年担任・速水</p> <p style="text-align: center;"><b>ちりもつもれば桜の木！！</b></p> <p style="text-align: center;"><b>1週間の取り組みを学年で合わせると・・・</b></p> <p>6年生全員で取り組んだ、環境をよくする1週間の取り組みのまとめが終わりました。1人1人のCO<sub>2</sub>削減量を、運動場の桜の木1週間のCO<sub>2</sub>吸収量に換算すると、1本にもなりません。思いの外、少ない数字に、やがっかりの子どもたち。でも、全員分をたしていくと、CO<sub>2</sub>は279.66kg・・・</p> <p style="text-align: center;">学年で合計して約16本分にもなりました！</p> <p>もしこれが、全学年の取り組みだったら16本×6学年＝96本、もしこれを1ヶ月続けたら96本×4週間＝384本！！</p> <p>一人一人の力はわずかで、みんなの力をあわせれば、地球を守れそうです。希望のわいてくる数字ですね。子どもたちも、取り組みを小さくても続けること、他の人にもこの取り組みを広めていくことを話し合うことができました。</p> <p>その後、春を通して、環境をよくするアイデアをいろいろ考えました。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p><b>市民に・・・</b> 環境の事を、ポスターやビデオ、HPで宣伝する。 車を使う曜日を決める。 環境の歌を作って、路上ライブ！々・・・他</p> <p><b>車会社・・・</b> エコカーを大量生産して、安く売る。</p> <p><b>公共交通に・・・</b> 電車、バスの運賃を安くして、路線を伸ばす 子ども無料デーを作る！々・・・他</p> <p><b>行政に・・・</b> 1日、車を使わない日を決める。 環境のCMをつくる。 劇にレンタルの自動車を使う。 税金を高くして公共交通の運賃をただにする！々・・・他</p> </td> <td style="vertical-align: top; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>この授業の時に、運輸局の人や、大阪府土木課、豊中市の環境教育課、大学の先生などが見に来られていましたが、子どもたちのアイデアにしきりに感銘を受けていました。</p> </td> </tr> </table> </div>	<p><b>市民に・・・</b> 環境の事を、ポスターやビデオ、HPで宣伝する。 車を使う曜日を決める。 環境の歌を作って、路上ライブ！々・・・他</p> <p><b>車会社・・・</b> エコカーを大量生産して、安く売る。</p> <p><b>公共交通に・・・</b> 電車、バスの運賃を安くして、路線を伸ばす 子ども無料デーを作る！々・・・他</p> <p><b>行政に・・・</b> 1日、車を使わない日を決める。 環境のCMをつくる。 劇にレンタルの自動車を使う。 税金を高くして公共交通の運賃をただにする！々・・・他</p>	<p>この授業の時に、運輸局の人や、大阪府土木課、豊中市の環境教育課、大学の先生などが見に来られていましたが、子どもたちのアイデアにしきりに感銘を受けていました。</p>
<p><b>市民に・・・</b> 環境の事を、ポスターやビデオ、HPで宣伝する。 車を使う曜日を決める。 環境の歌を作って、路上ライブ！々・・・他</p> <p><b>車会社・・・</b> エコカーを大量生産して、安く売る。</p> <p><b>公共交通に・・・</b> 電車、バスの運賃を安くして、路線を伸ばす 子ども無料デーを作る！々・・・他</p> <p><b>行政に・・・</b> 1日、車を使わない日を決める。 環境のCMをつくる。 劇にレンタルの自動車を使う。 税金を高くして公共交通の運賃をただにする！々・・・他</p>	<p>この授業の時に、運輸局の人や、大阪府土木課、豊中市の環境教育課、大学の先生などが見に来られていましたが、子どもたちのアイデアにしきりに感銘を受けていました。</p>			

### (3) 学習の評価

東泉丘小学校では、6年生の理科の教科学習における「燃焼」、「光合成」などの空気や二酸化炭素に関連する学習と連携して、私たちの地域にあてはめて実際に空気の汚染状況を調査することにより課題を発見し、自分たちが生きる地域でも大気汚染が進展していることを確認して、改善するための実践学習を行いました。

学習の終了後に行った児童へのアンケート調査結果からは(図 2.2)、まず「授業が楽しかったか?」という設問に対して「とてもそう思う」および「まあそう思う」をあわせるとほぼ 100%に達したことからすると、大いに評価してよいと思われます。

また、「考えを深めることができた」ことに対して肯定的な回答が大半を占めたことから、教科学習との連携、実社会の現象や実践を伴ったこと、出前講座などが、児童の学習に大きな刺激を与えたのではないかと考えられます。

なかでも、「私と家族の CO<sub>2</sub>削減計画」の実践に際しては、自主的に多様な工夫を計画するとともに、計画を発表しあうことによって、行動に移す態度を活性化し、家族での実践をするなど、大きな成果を得ることができました。

さらに、保護者の皆様にも理解、応援していただくために、「理科通信」を発行することによって、空気調べの際の校外引率協力、「クルマ大集合」への参加、そして「私と家族の CO<sub>2</sub>削減計画」の実践でもいっしょに取り組むをしていただいで、その反応が子どもたちの口から次々と発せられたことは特筆すべきことであると思われます。

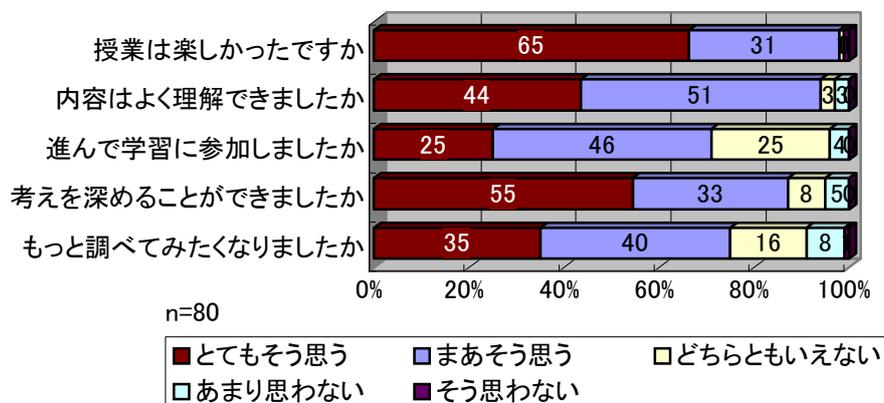


図 1 子どもたちの授業に対する感想

### (4) 今後の取り組みに向けて

本事例の実施に伴ういくつかの課題への対応や実施に係るノウハウを周知、継承するために、プログラムの多様な取り組みの蓄積、プログラムの活用・普及に向けた取り組みという視点で課題を以下に示します。

#### ①プログラムの多様な取り組みの蓄積

- ・ プログラムの導入に際しては、関連する教科学習との整合性確保、総合的な学習の時間におけるねらいと計画的実施の調整など、学校における教科学習の全体計画や年間計画の中で位置づける必要があります。とくに、導入部については、子どもたちが興味を持って取り組めるような配慮が必要です。

- 
- ・ 総合的な学習の時間への導入に際しては、子どもの自主性を尊重することを基本とすれば、あらかじめガイドライン的にカリキュラムや教材を準備するのはそぐわないという意見もあります。一方で、子どもたちの自主性を尊重するあまりに、授業の計画性や目標に対して問題が発生する場合があります。したがって、目標やねらいを明確にした上で子どもたちとのコミュニケーションを通してプログラムを進める工夫をするなどの配慮が必要であると考えられます。
  - ・ 家庭や地域といっしょに学んだり、支援をいただいたりする際には、十分なコミュニケーションが必要です。コミュニケーションの接点が子どもたちだけでは負担が大きくなる場合がありますし、十分な支援をいただけない場合も発生します。説明会の開催やプログラム通信の発行など、十分なコミュニケーションを図る工夫が必要であると思われます。
  - ・ プログラムのねらいはおおむね達成されることがわかったので、更に実践校を拡大して、理科、社会科などの教科学習での取り組みや、いくつかのテーマに基づいた総合的な学習への導入など、多様な取り組みを行い、本プログラムを活用していくための実施に係るノウハウなどの蓄積を行う必要があると考えられます。

## ②広く活用していただくためのしくみの構築

- ・ 広く活用していただくためには、各行政団体、教育委員会および学校に知っていただくための努力を行わなければなりません。このために、行政団体と教育委員会が連携して、小学校の現場に対して利用していただけるしくみを構築し、教材提供や授業実施のための支援を行う必要があります。
- ・ たとえば、知っていただくためのパンフレットの作成、パイロットプロジェクト成果のアナウンス資料を作成し、市町村担当者への説明会、小学校校長会などを活用した案内をすることが望ましいと思われます。ただし、パンフレットや教材および要領などを作成して配布するだけでは、必ずしも活用されるとは限りません。実質的に活用を広げていくためには、公開授業、教育実践報告会および教育研究会などの教育現場での事例報告などを積極的に実践する必要があると思われます。